（様式3）

目標達成計画

事業所名　グループホームぶなの里

作成日：令和2年　1　月　21　日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12-2	急変時の初期対応の大切さがわかっているものの、職員の少ないときに起きた際の対応の仕方に不安や心配が大きい。適切な処置がなされるためにできることは何か、実践できるような参考資料があれば自信につながるのではないかと思われる。	急変時、いざというときにどの職員も慌てず対応できるようにするための工夫や取り組みをする。	急変時マニュアルのほかに誰もが一目でわかるような対処方法を目につく場所に作成、設置する。	6ヶ月
2	10	一人一人のサービス内容をケアマネ、職員で話し合い、計画・実施されているが利用者側の思いや反応などが都度記録に不足あり。職員内では話し合いやこまめな情報共有はなされていると思われるが、個々の状態変化に応じた際の内容把握と実践に時間がかかってしまう。	サービスの内容と利用者の反応などの記録を残し、評価につなげ、より良い利用者主体のプランに導く。	①サービス内容の実施記録を個人ケース記録に（あるいは都度、必要時）残す。 ②記録を基に評価する。 ③評価したものを職員共有確認し次につなげる。	6ヶ月
3	3	運営推進会議内での意見、検討、事項などが実践できていないことがある。	地域との関わり、相互協力が得られる事業所なれるように、できるところから始める。	①地域の方との交流活動（お茶会、余興ボランティア等）を地域委員お方を通して方法や意見などをもらい計画実践へと導くための呼びかけをなど行う。②地域、ご近所の方などに避難訓練の見学などで入居者の状況を知ってもらったりする参加参加呼びかけを行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月